請求きづり

kiduriacount ／ 福祉

記録から国保連請求まで、ひとつながり。



月末の請求も、出す前に確かめられる

このアプリについて

請求きづりは、放課後等デイサービス・児童発達支援・保育所等訪問支援の、国保連（国民健康保険団体連合会）への請求を行うクラウドシステムです。きづりのメニューからそのまま入れて（シングルサインオン）、きづりの予定と日々の記録が月の請求の材料になります。ホームには月次の手順（実績 → 月締め → 上限額管理 → 提出前チェック → 確定 → 伝送 → 入金）が帯で並び、「次にやること」を押していけば、その月の請求が進みます。同じ情報を二度打ち込む手間をなくし、提出の期限（翌月10日）も画面で確かめられます。私たち自身の事業所で毎月の請求に使い、他の請求ソフトで実際に伝送したデータと突き合わせて、伝送CSVの項目が一致することを確かめながら仕上げてきました。

こんな方へ

放課後等デイサービス・児童発達支援・保育所等訪問支援の事業所の管理者・事務担当者（きづりをご利用の事業所）

ポイント

1. きづりからシングルサインオン。きづりの予定と記録をそのまま使い、二重入力をなくす
2. 月次の手順の帯と「次にやること」：実績 → 月締め → 上限額管理 → 提出前チェック → 確定 → 伝送 → 入金。提出期限（翌月10日）も表示
3. 実績入力は「日別」（その日に来た児童を全員分）と「児童別（1か月）」を切り替え。時間区分は入退室の時刻から自動で判定し、加算の回数の上限でも自動で止める

くわしい紹介・導入のご相談はこちら

https://app.soship.co.jp/app.php?id=kiduriacount

導入のご相談：soship.co.jp/contact

できること

1. きづりからシングルサインオン。きづりの予定と記録をそのまま使い、二重入力をなくす
2. 月次の手順の帯と「次にやること」：実績 → 月締め → 上限額管理 → 提出前チェック → 確定 → 伝送 → 入金。提出期限（翌月10日）も表示
3. 実績入力は「日別」（その日に来た児童を全員分）と「児童別（1か月）」を切り替え。時間区分は入退室の時刻から自動で判定し、加算の回数の上限でも自動で止める
4. 放課後等デイサービス・児童発達支援に加えて、保育所等訪問支援に対応（訪問用の実績表、訪問支援員特別加算・初回加算・家族支援加算など）
5. 令和8年度の報酬・加算・減算に対応した、月締めの一括算定。欠席時対応加算だけの月にも請求を作成
6. 請求漏れ・返戻につながる不備を、赤枠と理由・直し方つきで提出前にチェック（受給者証の期限・支給量・事業所情報の未入力など）
7. 利用者負担の上限額管理：上限額管理加算の自動算定、複数事業所の併用・きょうだいの合算に対応
8. 国保連伝送CSV（給付費・実績記録票・上限管理）と、帳票PDF（給付費明細書・上限額管理結果票・利用者負担額一覧表）をまとめて出力
9. 入金・未収の管理と、返戻になった分の月遅れ請求
10. 受給者証の更新時期（60日以内・失効）をホームに表示。画面の中のマニュアルとヘルプで、担当者が替わっても迷わない
11. 実績ベースの売上見込みをマネジメントきづりへ連携。同じ事業所番号の複数の単位は1つの請求事業所として扱い、個人情報の暗号化・権限の分離・監査ログを備える

なぜ、つくったのか

国保連請求は確認事項が多く、請求漏れ、受給者証の期限切れ、支給量の超過、加算の付け忘れといった「漏れ・間違い」が起きやすい業務です。返戻されれば翌月に再作業、入金後に請求漏れに気づけば取り戻せないこともあります。請求きづりは、こうしたリスクに「出す前に気づける」仕組みをつくり、担当者が替わっても同じ品質で請求できるようにするために生まれました。その日の実績入力が終わっていないときは、きづりのダッシュボードにお知らせが出ます。

これから

毎年の報酬改定や様式の変更に、クラウドで追随していきます（令和8年6月改定の処遇改善加算の新しい率にも対応済み）。実績にもとづく売上の見込みは、マネジメントきづりの「本日の数字」に自動で入り、記録・請求・運営がひとつの流れでつながります。

提供元　株式会社SOSHIP

放課後等デイサービス・学習塾・通信制高校サポート校を自ら運営しながら、現場で必要になった仕組みをアプリケーションとして開発・提供しています。

〒225-0024 神奈川県横浜市青葉区市ケ尾町1158-3 杉田ビル　／　soship.co.jp　／　導入のご相談：soship.co.jp/contact

導入のご相談